（別紙様式4）

令和6年7月31日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
名古屋ウェディング＆ブライダル専門学校	平成25年3月28日	古渕　泰弘	〒　451-0045 （住所）愛知県名古屋市西区名駅2-27-36 （電話）052-541-3300
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居　敏	〒　113-0003 （住所）東京都文京区本郷三丁目23番地16号 （電話）03-3814-6151

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
衛生	衛生専門課程	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	平成27(2015)年度	－	平成28(2016)年度

学科の目的	「世の中の困難を希望に変える。」をミッションとし、学校教育法に基づき、ブライダル業界の関連分野において、活躍する人材を育成するため、必要とされる知識と技能を教授することを目的とする。
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	ブライダルコーディネート技能検定、ブライダルメイクアップ検定、花嫁着付け2級、JANジェルネイル技能検定試験

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	－ 単位時間	－ 単位時間	－ 単位時間	－ 単位時間	－ 単位時間
		62 単位	27 単位	50 単位	6 単位	0 単位	10 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
240 人	154 人	0 人	0 %	9 %

就職等の状況

■卒業者数（C）	76	人
■就職希望者数（D）	59	人
■就職者数（E）	55	人
■地元就職者数（F）	42	人
■就職率（E/D）	93	%
■就職者に占める地元就職者の割合（F/E）	76	%
■卒業者に占める就職者の割合（E/C）	72	%
■進学者数	15	人

■その他

就職希望無し等

（令和　　5 年度卒業者に関する令和６年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和5年度卒業生）

株式会社ベストブライダル、株式会社ブラス、株式会社フォーシスアンドカンパニー、株式会社ベストアニバーサリー

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　無

※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

http://www.sanko.ac.jp/nagoya-bridal/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間
うち必修授業時数	単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数	62 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	6 単位
うち企業等と連携した演習の単位数	11 単位
うち必修単位数	12 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	1 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	6 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	6 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	9 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	1 人
計		16 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	9 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

（1）カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
（2）各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
（3）教科書・教材の選定に関する事項
（4）その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。
具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、ブライダル分野専門委員会（別紙組織図：各専門委員会）にて提案される。
提案に基づき、ブライダル分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
林　一馬	全米ブライダルコンサルタント協会　日本オフィス所長	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	①
湯沢　健二	株式会社エルフラット	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	③
南谷　伸一	有限会社ケー・シー・ピュア	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	③
山内　朝子	名古屋ウェディング＆ブライダル専門学校　副校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	ー
坂本　愛喜子	名古屋ウェディング＆ブライダル専門学校　主任	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	ー

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「ー」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）
年2回　（5月、2月）

（開催日時（実績））
第1回　令和6年2月20日　16:00～17:30
第2回　令和6年5月20日　14:00～15:30

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。
①せっかくカリキュラムにインターンシップがあるので、もっと活用すべき。単位のために来ているという感じもあるので、1度きりの結婚式は失敗ができないなど、学生のときから責任感を持たせていただきたい。
⇒対応：動機付けの一つとして企業様に講師としてお越しいただき、ご講話をしていただき、より現場についてリアルを語っていただき、責任感を持ってインターンシップに臨めるように対応する。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、ウェディング業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。ウェディング業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

＊授業内容について（1年次後期に、企業と連携をして、今後のブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するために企画力と再現力を身に付け、プレゼンテーション能力を学ぶ。）

＊評価について（連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする）

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
ブライダルプロジェクトＩＢ	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	必須行事であるブライダルコンペティションを創り上げることを通して、企画力や発想力、プレゼンテーション能力を身につける	CANOW
フラワーアレンジ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	検定取得を目指す 装花の種類を理解し、様々なスタイルと作成技術を学ぶ	合同会社マリア
花嫁着付けＩＡ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく	有限会社ビバーチェ
花嫁着付けＩＢ	2.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく	有限会社ビバーチェ
インターンシップＩ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける	株式会社トリート他

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日のブライダル業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修

・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　ブライダル業界が専門学校に求めること　　連携企業等：株式会社トリート阪部藍未様他

期間：　令和5年8月22日　　対象：担任教員11名

内容　①ブライダル業界が求めている具体的な人材について②採用試験では具体的にどのようなところを見て判断しているのか。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　多様化する生徒たちにどう向き合うか　　連携企業等：株式会社L＆Rヴィレッジ　喜多川泰様

期間：　令和6年4月2日　　対象：全教員49名

内容　多様化する生徒との向き合い方を学ぶ

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　ウェディング業界の今後の展望について　　連携企業等：株式会社高見他2社

期間：　令和6年8月23日　　対象：担任教員14名

内容　ウェディング業界が今後の発展のために専門学校へ求めること・期待することを学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　皆さんに伝えたい教育に活かせる幸せの法則　　連携企業等：株式会社アビリティトレーニング

期間：　令和7年2月25日　　対象：全教員49名

内容　①人生の幸せはどれだけ多くの人をどれだけ喜ばせることができたかだけで決まる②自分への存在承認が幸せの第一歩③確信を持つ者は、あきらめずに課題に向き合い続ける

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。
学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	（1）教育理念・目標
（2）学校運営	（2）学校運営
（3）教育活動	（3）教育活動
（4）学修成果	（4）学修成果
（5）学生支援	（5）学生支援
（6）教育環境	（6）教育環境
（7）学生の受入れ募集	（7）学生の受入れ募集
（8）財務	（8）財務
（9）法令等の遵守	（9）法令等の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	（10）社会貢献・地域貢献
（11）国際交流	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。
多様性の時代にはいり、様々な生徒が居る中で、集団ばかりだけではなく、一人で過ごしたい生徒も多いと思うので、対応を検討いただきたい。
⇒サイレントルームのような、壁に向かって座って落ち着ける場所（教室）を検討する。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
大塚　淳夫	有限会社ビバーチェ	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	企業等委員
大橋　ユカリ	CANOW	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	企業等委員
横矢　翔吾	飛鳥未来きぼう高等学校名古屋キャンパス	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	高校教員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））

URL:　https://www.sanko.ac.jp/nagoya-bridal/information/assets/pdf/kankeisya.pdf

公表時期:　令和6年6月20日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。

2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。

3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
（2）各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
（3）教職員	教員数、組織、専門性
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事
（6）学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
（8）学校の財務	学校の財務
（9）学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
（10）国際連携の状況	
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））

URL:　https://www.sanko.ac.jp/nagoya-bridal/information/assets/pdf/schoolinfo.pdf

公表時期:　令和6年7月4日

授業科目等の概要

	（衛生専門課程　ブライダルヘアメイク＆ドレス科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ブライダル知識ＩＡ	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指す	1年前期	15	1	○			○		○		
2	○			ブライダル知識ＩＢ	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指す	1年後期	15	1	○			○		○		
3	○			未来デザインプログラムA	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う	1年前期	15	1	○			○		○		
4	○			未来デザインプログラムB	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う	1年後期	15	1	○			○		○		
5			○	ブライダルビジネスマナー	敬語の使い方、履歴書の書き方やビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ	1年前期	30	2	○			○		○		
6			○	パーソナルカラー	ファッションコーディネートの現場で即戦力となれるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける	1年後期	30	2	○			○			○	
7			○	キャリアデザインＩＡ	検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う。また、就職やインターンシップの事前指導や就職面接などを学ぶ	1年前期	30	2	○			○		○		
8			○	キャリアデザインＩＢ	検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う。また、就職やインターンシップの事前指導や就職面接などを学ぶ	1年後期	30	2	○			○		○		
9			○	マーケティング	必須行事であるブライダルコンペティションと連動し、ブライダル業界のニーズや動向について知る	1年後期	15	1	○			○		○		
10			○	ドレスデザインA	衣装の知識を学び、全米ブライダル協会ドレススタイリスト検定取得を目指す	1年前期	30	2	○			○		○		
11			○	ドレスデザインB	衣装の知識を学び、全米ブライダル協会ドレススタイリスト検定取得を目指す	1年後期	30	2	○			○		○		

12			○	インターンシップ対策	ブライダルの現場に出るための準備や社会人としての考え方や心構えを養う	1年前期	15	1	○			○		○		
13			○	アテンド実践A	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、心得を修得する	1年前期	30	1		○		○		○		
14			○	フラワーアレンジ	検定取得を目指す 装花の種類を理解し、様々なスタイルと作成技術を学ぶ	1年前期	45	2		○		○			○	○
15	○			ブライダルプロジェクトⅠA	必須行事である模擬挙式を創り上げることを通して、挙式の流れや役割、想像力を身につける	1年前期	30	1		○		○		○		
16	○			ブライダルプロジェクトⅠB	必須行事であるブライダルコンペティションを創り上げることを通して、企画力や発想力、プレゼンテーション能力を身につける	1年後期	30	1		○		○		○	○	○
17			○	花嫁着付けⅠA	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく	1年前期	45	2		○		○			○	○
18			○	花嫁着付けⅠB	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく	1年後期	45	2		○		○			○	○
19			○	ベーシックメイクA	メイクの基礎テクニックを学ぶ（入門）	1年前期	45	2		○		○		○		
20			○	ベーシックメイクB	メイクの基礎テクニックを学ぶ（検定取得に向けて学ぶ）	1年後期	45	2		○		○		○		
21			○	ブライダルネイルⅠA	ネイルの基礎テクニックを学ぶ（ネイリスト技能検定3級取得に向けて学ぶ）	1年前期	45	2		○		○		○		
22			○	ブライダルネイルⅠB	より高いネイルテクニックを学ぶ（ネイリスト技能検定2級取得に向けて学ぶ）	1年後期	45	2		○		○		○		
23			○	ブライダルヘアアレンジⅠ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを学ぶ	1年前期	30	1		○		○		○		
24			○	ブライダルメイクⅠ	ブライダルに関するメイクの基礎を学ぶ	1年前期	45	2		○		○		○		
25			○	ブライダルヘアアレンジⅡ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを学び技術の幅を広げる	1年後期	45	2		○		○		○		
26			○	ブライダルヘアメイクⅠ	ヘアアレンジの基礎テクニックを活かし、アレンジカ技術の幅を広げる	1年後期	30	1		○		○		○		

27			○	ドレスフィッティング	ドレスデザインA,Bで学んだフィッティング技術を実践し、即戦力を身に付ける	1年後期	30	1			○	○		○		
28			○	ドレスソーイング＆メンテナンスⅠ	ドレススタイリストの仕事の一環である、補正・染み抜き・裾上げ・アイロン掛け等のメンテナンス業務を学ぶ	1年後期	30	1			○	○		○		
29			○	インターンシップⅠ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける	1年後期	60	2			○		○		○	○
30	○			ブライダル知識ⅡA	ブライダルコーディネート技能検定取得を目標としブライダル業界全体の知識を身につける	2年前期	30	2	○			○		○		
31	○			ブライダル知識ⅡB	ブライダルコーディネート技能検定取得を目標としブライダル業界全体の知識を身につける	2年後期	30	2	○			○		○		
32			○	キャリアデザインⅡA	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける	2年前期	15	1	○			○		○		
33			○	キャリアデザインⅡB	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける	2年後期	15	1	○			○		○		
34			○	ブライダルジュエリー	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ	2年前期	15	1	○			○		○		
35	○			ブライダルプロジェクトⅡA	必須行事であるウェディングプロデュースを創り上げることを通して、披露宴の流れや、企画力、接客力、実践力を身につける	2年前期	30	1		○		○		○		
36	○			ブライダルプロジェクトⅡB	必須行事であるウェディングプロデュースを創り上げることを通して、披露宴の流れや、企画力、接客力、実践力を身につける	2年後期	30	1		○		○		○		
37			○	花嫁着付けⅡA	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく	2年前期	45	2		○		○			○	○
38			○	花嫁着付けⅡB	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく	2年後期	45	2		○		○			○	○
39			○	ブライダルネイルⅡA	より高いネイルテクニックを学ぶ（ネイリスト技能検定1級取得に向けて学ぶ）	2年前期	45	2		○		○			○	
40			○	ブライダルネイルⅡB	より高いネイルテクニックを学ぶ（ジェルネイル検定初級取得に向けて学ぶ）	2年後期	30	1		○		○			○	
41			○	ブライダルエステA	エステの基礎テクニックを学ぶ	2年前期	30	1			○	○			○	

42			○	ブライダルエステB	エステの基礎テクニックを学ぶ	2年後期	30	1			○	○			○	
43			○	パソコンスキル	タイピング・Word・Excelの基礎を学ぶ	2年前期	30	1		○		○		○	○	
44			○	ビジネスメール	ビジネスメールの知識を学び、ブライダル業界でお客様・取引先とのやり取りが出来るようになる	2年後期	30	1		○		○		○	○	
45			○	ブライダルヘアアレンジⅢ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを活かし技術の幅を広げる	2年前期	45	2		○		○		○		
46			○	ブライダルヘアアレンジⅣ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを活かし技術の幅を広げアレンジ力を高める	2年後期	45	2		○		○		○		
47			○	ブライダルメイク＆フォトA	ブライダルのテーマ8パターンに合わせてメイクの提案ができるようになる	2年前期	45	2		○		○		○		
48			○	ブライダルメイク＆フォトB	学んだテクニックをアレンジし、ブライダルのフォト作品作りを行う	2年後期	45	2		○		○		○		
49			○	洋装・和装メイクA	ブライダルの洋装と和装に合わせたヘアメイクのテクニックを学ぶ	2年前期	30	1		○		○		○		
50			○	洋装・和装メイクB	ブライダルの洋装と和装に合わせたヘアメイクのテクニックを学ぶ	2年後期	30	1		○		○		○		
51			○	ドレススタイリングA	ドレスデザインA、Bで学んだ知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートのスキルを身に付ける	2年前期	30	1			○	○		○		
52			○	ドレススタイリングB	ドレスデザインA、Bで学んだ知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートのスキルを身に付ける	2年後期	30	1			○	○		○		
53			○	ドレスカウンセリングA	ドレススタイリストに必要なカウンセリング力、トーク力を身に付ける	2年前期	15	1	○			○		○		
54			○	ドレスカウンセリングB	ドレススタイリストに必要なカウンセリング力、トーク力を身に付ける	2年後期	15	1	○			○		○		
55			○	ドレスコーディネートA	ドレスフィッティングで身に付けた技術を活かし、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける	2年前期	30	1			○	○		○		
56			○	ドレスコーディネートB	ドレスフィッティングで身に付けた技術を活かし、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける	2年後期	30	1			○	○		○		

57			○	ドレスソーイング＆メンテナンスⅡ	ドレスソーイング＆メンテナンスⅠの知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る また、作品作りを行う	2年前期	30	1			○	○		○		
58			○	ドレスソーイング＆メンテナンスⅢ	ドレスソーイング＆メンテナンスⅠ、Ⅱの知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る また、作品作りを行う	2年後期	30	1			○	○		○		
59			○	ブライダルヘアメイクⅡ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを学び技術の幅を広げる	2年前期	30	1		○		○		○		
60			○	ブライダルヘアメイクⅢ	ヘアアレンジの基礎知識テクニック活かし技術の幅を広げる	2年後期	30	1		○		○		○		
61			○	ブライダルメイク＆フォトA	ブライダルのテーマ8パターンに合わせてメイクの提案ができるようになる	2年前期	45	2		○		○		○		
62			○	ブライダルメイク＆フォトB	学んだテクニックをアレンジし、ブライダルのフォト作品つくり	2年後期	45	2		○		○		○		
63			○	インターンシップⅡ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける	2年前期	60	2			○		○		○	○
64			○	インターンシップⅢ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける	2年後期	60	2			○		○		○	○
合計					64　科目			93 単位（単位時間）									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。	1学年の学期区分	2 期
履修方法：	原則として教育課程に定められている順序で履修する。 ブライダル知識ⅠA・B、未来デザインプログラムA・B、ブライダルプロジェクトⅠA・B、ブライダル知識ⅡA・B、ブライダルプロジェクトⅡA･Bは必履修	1学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。